

三滝だより

みたき もり
三滝の森たんけん

NO. 283

2026年5月15日発行



ぼく、ミタッキーだよ。ここ三滝少年自然の家は、自然がいっぱい。自然の中で感じる木々や植物の色やにおい、鳥などの鳴き声、森の中を通り抜ける風も、春・夏・秋・冬の季節ごとにどんどん変わっていくよ。この前、語らいの広場を散歩していたら、葉っぱの真ん中に花が咲いているのを見つけて、びっくりしたよ。よく見ると、形と大きさが違う2種類の葉っぱだったよ。その木の名前が知りたくて調べてみたら、「ハナイカダ」と「ナギイカダ」という名前だったことがわかったよ。どちらももうすい緑色の花だけど、秋になると、ハナイカダは黒い実、ナギイカダは赤い実ができるそうだよ。仲良く2本並んでい

るので、ぜひ探してみてね。

葉っぱのふちの形が、ノコギリのようだね。

こっちの葉っぱのふちには、ギザギザがないね。



ハナイカダ (ハナイカダ科)

ナギイカダ (クサスギカズラ科)

木によって形が違う葉っぱ

ぼくは、花の蜜が大好きで、春になると、ツバキやウメ、サクラなどいろいろな木にとまって花の蜜を吸っているんだよ。木によって、葉っぱの形が丸いもの、長細いもの、針のようにとがっているもの、そして、魚のうろこのように重なり合って見えるものまであるので、それを見て回るのも楽しみなんだ。

葉っぱの中に、葉っぱがあるように見えるね。



サルトリイバラ (サルトリイバラ科)



ビワ (バラ科)



ヤマザクラ (バラ科)



コナラ (ブナ科)



ヤツデ (ウコギ科)

グーチョキパー。じゃんけんをしているように見えるね。



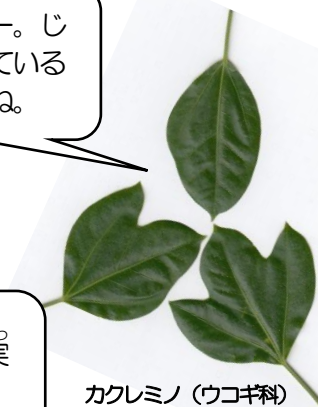
ヌルデ (ウルシ科)



イロハカエデ (ムクロジ科)



コノテガシワ (ヒノキ科)



カクレミノ (ウコギ科)



クロマツ (マツ科)

コバノミツバツツジ (ツツジ科)

木によって、葉っぱの形やその付き方、ふちの形も違っていろいろ種類葉っぱを探して、三滝の森を歩くと楽しいよ。

参考文献:「葉で見わかる樹木」林将之著・小学館、「牧野日本植物図鑑」北隆館

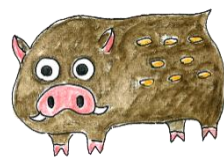
命のみなもと光合成

三滝少年自然の家には、花、草、木など沢山の植物が育っています。今の

時期には若葉が茂り、緑色や黄緑色がとてもきれいです。



語らいの広場のイロハモミジ



秋の紅葉したイロハモミジだけでなく、初夏の黄緑色のイロハモミジも美しいウボッ！

植物は光合成といって、光のエネルギーを利用して、空気中の二酸化炭素と根から吸い上げた水分から、酸素とでんぷんなどの養分（栄養となる成分）を作り出します。光合成で作られた養分は、植物自身が成長するために使われたり、種や実、根、くきに蓄えられたりします。



三滝少年自然の家の植物では、マテバシイやスダジイなどの実（ドングリ）

やクリ、クサイチゴなどの実に養分が蓄えられています。（＊三滝少年自然の

家では、植物の採取は禁止しています。）そして、私たち人間は、その蓄えら

れた養分などを食べて、生きるためのエネルギー源としています。例えば、お

こめ、ジャガイモ、トウモロコシなどを食べていますよね。



どれも食べると美味しいよね。



クサイチゴ

また、光合成では、地球温暖化の原因の一つと言われている二酸化炭素を

吸収し、私たちだけでなく地球上の生物にとって、とても大切な酸素を作

り出しています。反対に、地球の大気中の二酸化炭素濃度が高くなる原因とし

て、化石燃料（動物や植物の死骸が地中に埋もれ、長い年月をかけて変化し

燃料として用いられるもの）の使用が増えていることや、森林の伐採が広が

っていることなどが考えられます。植物の光合成のことから、みんながで

きることを考えてみませんか。



自然を大切にすることとは、私たち自身を大切にすることにも繋がっているんだよ。

公益財団法人広島市文化財団
広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目7番地の20
TEL082-238-6301 FAX082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>